

# 学校経営推進費を活用した 農福連携の取組み

～ブドウ栽培を通じた取組みから～

大阪府立西浦支援学校

## 西浦支援学校について

- 大阪府羽曳野市にある支援学校で、  
主に知的障がいのある児童・生徒が通う
- 小学部、中学部、高等部がある
- 日常生活に役立つ学習に取り組む

# キャリア教育・職業教育

- 小学部 「生活」を中心に
- 中学部 「作業」を中心に
- 高等部 「職業」を中心に

## 中学部「作業」

水・金曜日の週2回 70分程度ずつ

「園芸」 「紙工」 「クリーニング」

「縫製」 「木工」 「窯業」

6種目を半年ずつ 1～3学年ですべて学習

# 高等部「職業」 ※生活コース

毎日15分ずつ「清掃」

月・水・金曜日の週3回 90分ずつ

「クラフト」 「農業」 「縫製」 「窯業」

4種目を半年ずつ 1～2年ですべて学習

→ 3年生で1種目を選んで1年間学習

# 高等部「職業」 ※職業コース

毎日15分ずつ「座学」

月・水・金曜日の週3回 90分ずつ

「喫茶」 「事務」 「清掃」 「農園芸」

学期の定めなく、4種目をバランスよく学習

# 高等部卒業後の進路

○ 就職（障がい者雇用）	約1割
○ 職業訓練、自立訓練等	約2割
○ 就労継続支援A型	なし
○ 就労継続支援B型	約3割
○ 生活介護	約4割

西浦支援学校

大阪公立大学

卒業生をぶどう栽培の担い手に

環境農林水産総合研究所・農業大学校



# 大阪府 学校経営推進費

学校教育目標の達成に向けた

効果的な事業に予算を配当

「人との関わりを大切にし、自己有用感を高め、  
生徒の社会的自立をめざす」

# 学校経営計画の中期的目標

- ・職業教育の充実
- ・地域連携による「はたらく」意欲の向上
- ・校内でのぶどう栽培の実現
- ・よりよい進路実現
- ・全校一貫したキャリア教育

# 事業目標

1. ビニルハウスを建設して新手法でぶどうを栽培
2. 誰にでも分かりやすいテキスト作成方法を確立
3. 小学部・中学部・高等部で一貫したキャリア教育

# 事業目標

- 4. シンポジウムを開催して農福連携ネットワーク拡大
- 5. 卒業生がぶどう栽培で活躍するための条件整備
- 6. 地域農業産業への就労を実現



# 1. ビニルハウス建設・新手法でのぶどう栽培



ぶどう栽培用ビニルハウス



# 新手法によるぶどう栽培





# 新手法によるぶどう栽培



低身長でも  
ぶどうに  
触れられる



# 学校内でのぶどう栽培





# ぶどうの収穫・販売





# ぶどうの収穫・販売





# 学校外でのぶどう栽培実習



# 環境農林水産総合研究所でのぶどう栽培実習

- ・芽かき
- ・花穂整形
- ・ジベレリン処理
- ・摘粒
- ・袋かけ
- ・収穫
- ・剪定

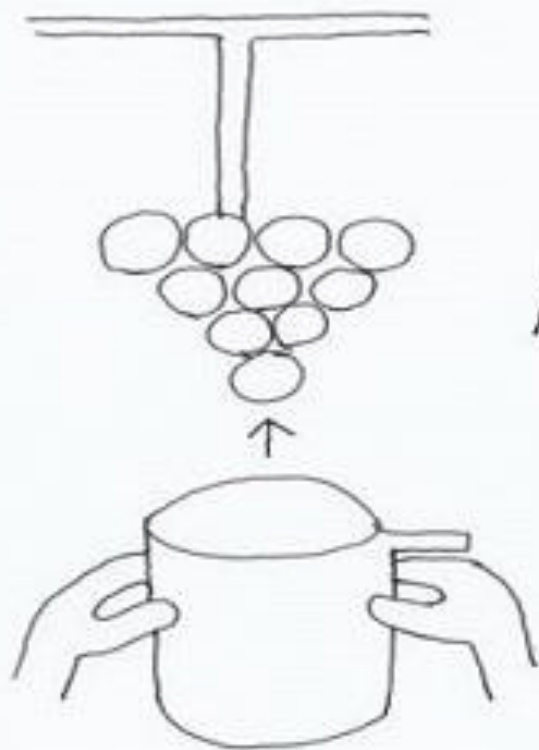




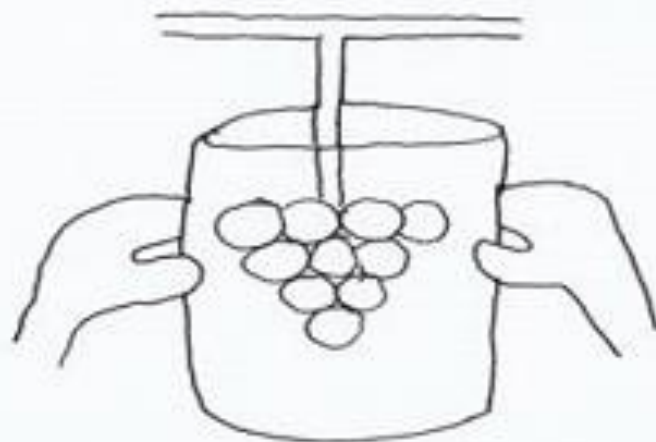
# 1. ビニルハウス建設・新手法でのぶどう栽培

80点

## 2. 誰にでも分かりやすいテキストづくり



りょうて も  
両手で 持って  
はた 下から かぶせる



ぶどうが<sup>ぶどう</sup>袋<sup>なか</sup>の中で  
ま<sup>なか</sup>真ん中<sup>なか</sup>にくるように  
する



ぶどうの<sup>ぶどう</sup>軸<sup>じく</sup>を真ん中<sup>まなか</sup>  
にして<sup>ぶどう</sup>袋<sup>なか</sup>の口<sup>くち</sup>を  
あつ<sup>あつ</sup>集める



かたて<sup>かたて</sup> ぶどう<sup>ぶどう</sup> くち<sup>くち</sup> も  
片手で 袋<sup>なか</sup>の口<sup>くち</sup>を 持ち  
もう一方の手で<sup>いもうた</sup> 口<sup>くち</sup>に  
ついた<sup>はり</sup>針金<sup>がね</sup>を<sup>くち</sup>口の  
まわり<sup>まわり</sup>に 巻き<sup>ま</sup>つける

# 「わかる」伝え方

- 具体的に
- 作業を分解して
- 視覚情報も付けて

# 「わかる」伝え方

## ○具体的に説明する

(例) 水を多めにやる

⇒ 4リットルのジョウロに満タンに  
入れた水を全部かける



# 「わかる」伝え方

## ○ 作業を分解して単純化する

(例) ぶどうに袋をかける

- ⇒
1. 開いた袋を下からかぶせる
  2. ぶどうを袋の真ん中にする
  3. 袋の口を左右から集める
  4. 片手で袋の口を持ち、針金を巻く

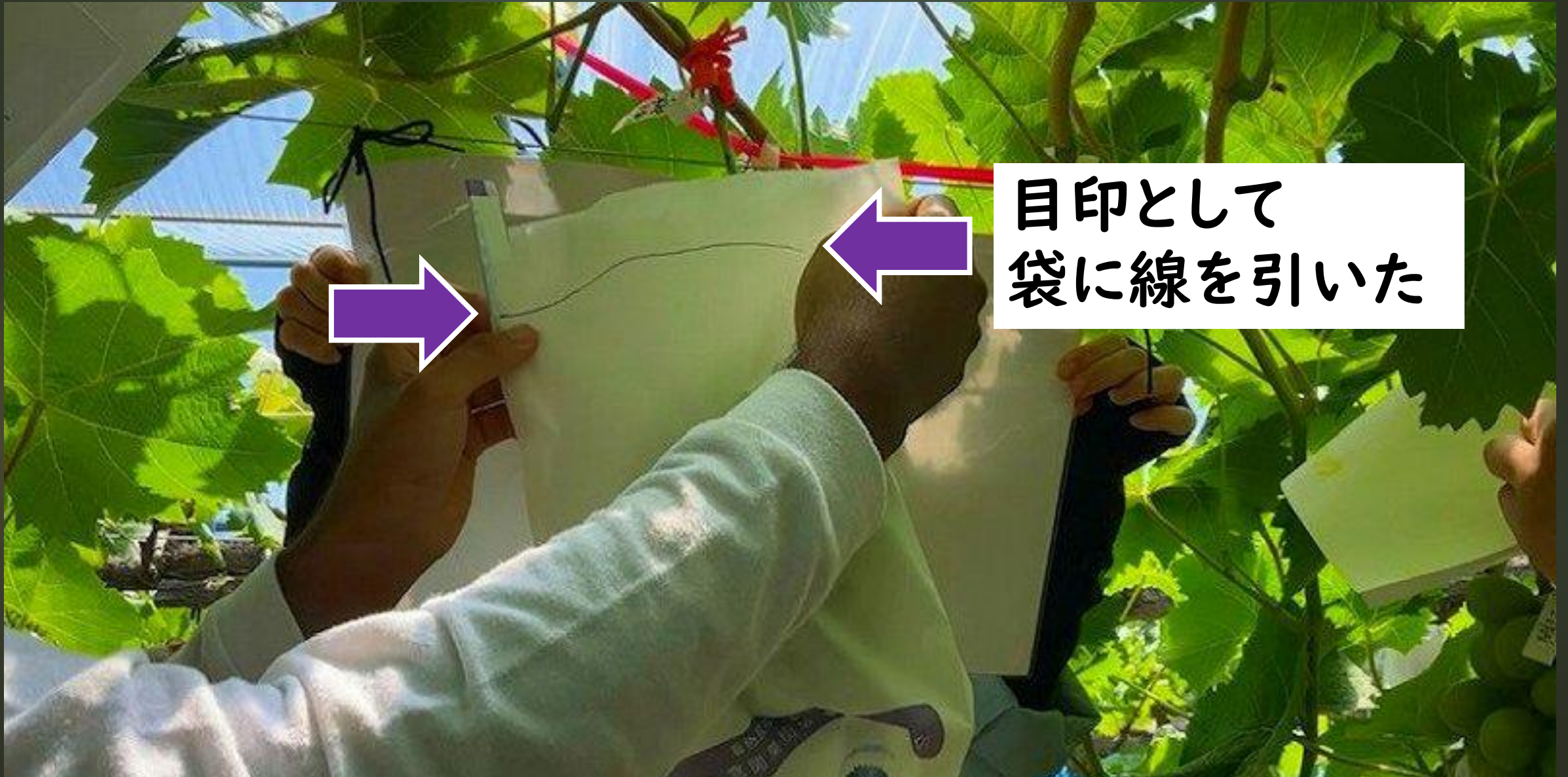
# 「わかる」伝え方

○手本・見本や写真など**視覚情報**で伝える

(例) 口頭での作業内容の説明に加えて

- ⇒
- ・**図**や**写真**が入った説明書を示す
  - ・目の前で**手本**を示す
  - ・**見本**を見せながら作業させる

# 袋かけ実習での気づき



目印として  
袋に線を引いた



# 袋かけ実習での気づき



# 袋かけ実習での気付き

○少しの工夫で、作業が大きく改善する

○支援方法や作業環境を調整すれば

知的障がい・発達障がいのない方と

ほぼ同等の作業が「できる」



# 動画作成方法の検討

- 説明原稿の読む速度は？
  - 写真が有効か？ イラストが有効か？
  - BGMや効果音はあった方がよいか？
- 業者に動画作成を依頼して実証

# 教員向けのマニュアルづくり

- ・ 農業の知識がなくても
- ・ 理科が苦手でも

「これさえ見れば、ぶどうを栽培できる」

教員用ぶどう栽培テキストを作成・更新中

## 2. 誰にでも分かりやすいテキストづくり

90点



### 3. 全校一貫したキャリア教育

【小学部】 社会を知る → 働くことへのイメージをもつ

【中学部】 仕事を経験 → 自分が働く姿をイメージ

【高等部】 自分の適性に合った進路選択をする



ぶどうを「栽培する」「販売する」「収入を得る」

【小学部】 高等部の活動を見学、一部を経験

【中学部】 高等部の活動を補助

【高等部】 主体的に栽培・販売活動を実践



# ぶどう栽培場所の拡大



### 3. 全校一貫したキャリア教育

50点



## 4. シンポジウム開催・農福連携ネットワーク拡大

2023年10月31日

第1回シンポジウム

2024年10月25日

第2回シンポジウム

2025年 7月 9日

大阪公立大学主催

シンポジウムに共催

# 第Ⅰ回農福連携シンポジウム

## 【ユニバーサル農業の実践】

京丸園株式会社      鈴木 厚志 氏

## 【農作業の効果と障がい者のしごとの広がり】

大阪公立大学      植田 剛司 氏

## 【ぶどう栽培実習による作業習得支援】

農業大学校      山口 洋史 氏

# 第1回農福連携シンポジウム



# 第Ⅰ回農福連携シンポジウム

## 【ぶどう生産者を交えたパネルディスカッション】

- ・太子町ぶどう生産者      丸谷 充 氏
- ・柏原市ぶどう生産者      乾 健裕 氏
- ・太子町ぶどう塾          佐藤 正満 氏



## 第2回農福連携シンポジウム

【こころみ学園とココ・ファーム・ワイナリーの歩み】

こころみ学園

越知 眞智子 氏

ぶどう・シイタケの栽培を通じた知的障がい者の  
心身の健康をめざす取組みを55年以上継続

# 【ココ・ファーム・ワイナリー】



【ココ・ファーム・ワイナリーHPより】



# 第2回農福連携シンポジウム



# 第2回農福連携シンポジウム

## 【パネルディスカッション】

- ・カタシモワインフード株式会社      高井 麻記子 氏
- ・太子町ぶどう生産者      丸谷 充 氏
- ・ディーセント・ファームかしわら      植田 剛司 氏



# 農福連携シンポジウム

## 農業における【アクセシビリティ】

【画像認識に基づく障がい児農業キャリア教育支援アプリの開発】

大阪公立大学

内海 ゆづ子 氏

大阪府立環境農林水産総合研究所

三輪 由佳 氏

【未来の担い手のための農作業支援ソリューション】

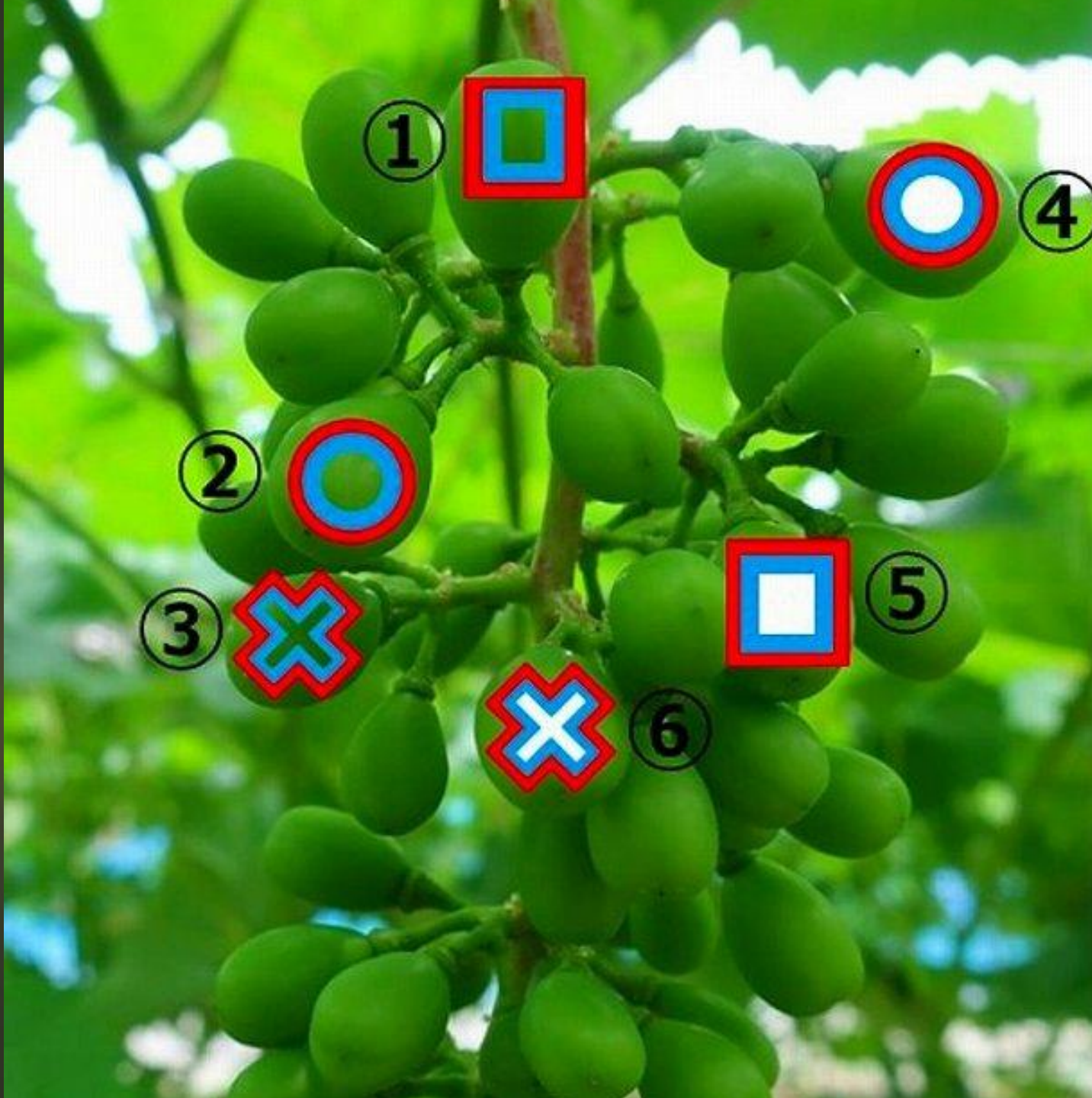
ヤンマーホールディングス株式会社

小西 充洋 氏

【高床式砂栽培を用いた農福連携の実現】

東レ建設株式会社

小倉 久弥 氏



# 摘粒作業 支援アプリ



# 農福連携シンポジウム

## 農業における【アクセシビリティ】

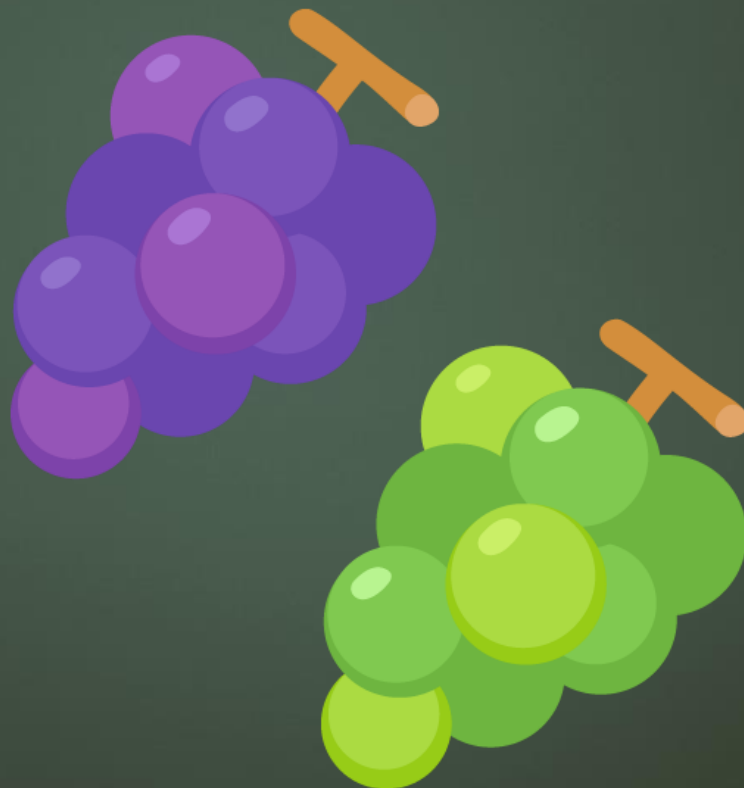




## 4. シンポジウム開催・農福連携ネットワーク拡大

80点

## 5. 卒業生のぶどう栽培での活躍に向けて



# 障がい者雇用の実際

大阪府最低賃金 1,177円

とても簡単な作業

待ち時間がとても長い

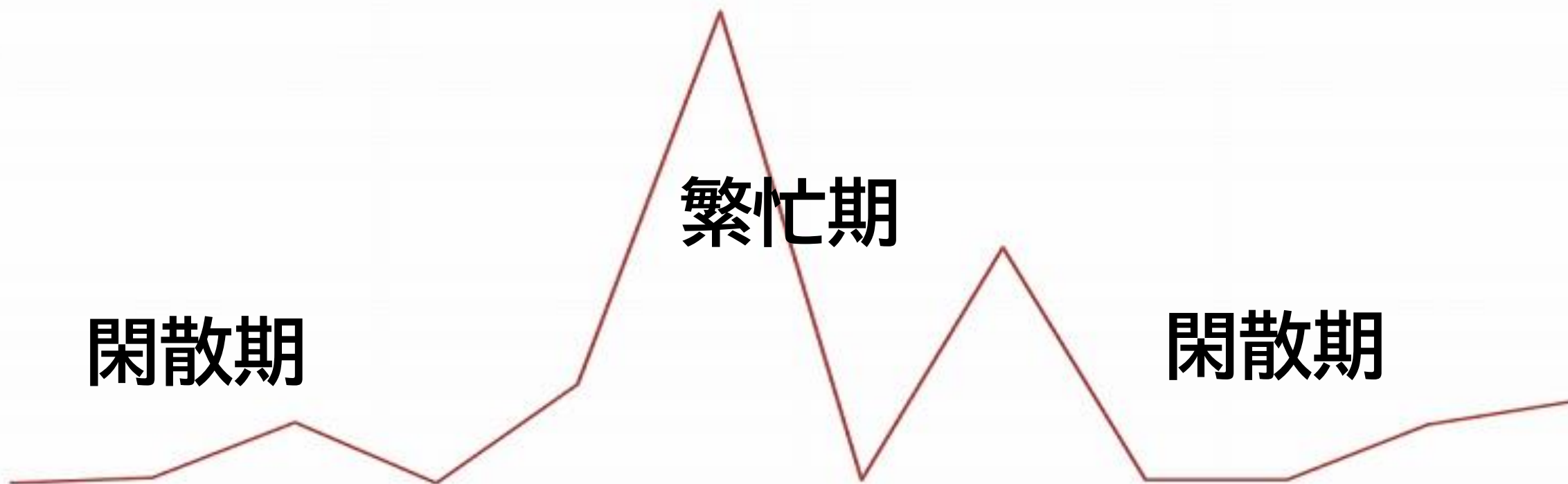
最低賃金減額

特定認可制度

助成金



# 障がい者雇用の実際



# ぶどう栽培における農福連携

## 福祉事業所



作業のある時に農家圃場に行く

こころみ学園	→ →	ワイン醸造用ぶどうを納品	→ →	ココ・ ファーム・ ワイナリー
	← ←	ぶどうの代金	← ←	
	← ←	ぶどう栽培技術指導	← ←	
	→ →	労働力の提供	→ →	
	← ←	工賃(人数×労働時間)	← ←	



B型事業所など



ぶどう生産者（農家）



# ぶどう栽培による農福連携の課題

1. 直接の雇用は難しい
2. ぶどう圃場にはトイレがない
3. 繁忙期は圃場が暑い

## 5. 卒業生のぶどう栽培での活躍に向けて

60点

## 6. 地域農業産業への就労を実現

### 今年度の高等部3年生

- ・ 農作業を行う企業への就労予定者なし
- ・ 農作業を行う福祉事業所の利用予定者あり



## 6. 地域農業産業への就労を実現

70点

## まとめ

1. ビニルハウスを建設して新手法でぶどうを栽培

→ 80点

2. 誰にでも分かりやすいテキスト作成方法を確立

→ 90点

## まとめ

3. 小学部・中学部・高等部で一貫したキャリア教育

→ 50点

4. シンポジウムを開催して農福連携ネットワーク拡大

→ 80点



## まとめ

5. 卒業生がぶどう栽培で活躍するための条件整備

→ 60点

6. 地域農業産業への就労を実現

→ 70点

## 今後の展望

- 6つの事業目標達成に向けた取組みを**継続**
- 支援学校の農福連携の取組みの**モデル**に
  - 成果を広く発信・**共有**